



みなかみの歴史と文化を大切にするデイサービス

名胡桃の城

令和5年
遊人舎

草履作り

藁と布を使って草履を作りました。

「昔は靴なんか買えないから、自分で草履を作ったんだよ。」

数十年ぶりの草履作りに苦戦される方もいましたが、昔話に花が咲き、とても和やかな雰囲気でした。

繭玉飾り

小正月の『繭玉飾り』を作りました。

「昔は作つたんだよ。」と皆さま手際良くあつという間に団子を丸めてくださいました。鮮やかなピンクと白いお団子が華やかです。

今年も畠で美味しい野菜がたくさん実るように願いを込めて飾りました。



お知らせ 2月のイベント



節分



初午団子作り



小濱道博先生に訊く

令和6年度介護保険法意見書では、地域包括支援センターの役割を勘案した時、令和3年度からスタートした重層的支援体制整備事業による8050問題の相談窓口など、総合相談支援機能に特に力を入れるべきとされました。そうした中で、地域包括支援センターの業務の中で大きな負担になっているのが予防ケアプランです。予防ケアプランについては、地域包括支援センターで契約して、地域の居宅介護支援事業所に外部委託しているのが現状です。しかし、手間の割に介護報酬が低いため、受託するケアマネジャーは限られていきました。来年4月より、介護予防事業の許認可については、居宅介護支援事業所が指定を取ることが可能となります。居宅介護支援事業所が、直接に予防ケアプランを受注できるということです。また、第一号総合事業における予防ケアマネジメントAについては、利用者の状態が大きな変化がない場合に限って、簡素化を可能となります。これによってケアマネジャーの負担を軽減する方向が示されました。ただ、実際の指定手続や、すでに地域包括支援センターが契約している既存の予防ケアプランをどうするかなどの実務的な問題は、今後の通知やQ&Aを待つことになります。

小濱道博



小濱介護経営事務所 代表
NKK 一般社団法人
日本介護経営研究協会 専務理事
C-SR 一般社団法人
介護経営研究会 専務理事
一般社団法人介護事業援護会 理事
C-MAS 介護事業経営研究会 顧問
ほか

七草粥

一年の無病息災を願って、昼食に七草粥を食べました。

みなみ産のお米で炊いたお粥は甘みが強く優しい味で、お正月で疲れた胃腸にもピッタリでした。



今月の BESTショット



椿が満開です！



社長 コラム

消防団の役割

今年で消防団勤続十五年になりました。

消防団といえば、池井戸潤の『ハヤブサ消防団』(集英社)を最近読みました。宗教と殺人以外は「これはうちの分団のことかな?」と思えるほど、田舎の消防団の様子がよく書かれていました。

世間では「消防車でコンビニに寄るな」活動後に制服で飲食店に行くな等、何かと悪い印象を持たれがちな消防団ですが、団員各自が仕事をもしながらも災害時にはいち早く現場に駆けつけ対応するという非常に重要な役割を持っています。三年前弊社で火災が起きた時には、消防団のお陰もあり被害が最小限に留められました。地元分団の皆さんには本当に感謝しています。

ありがとうございました。

消防団活動は火災出動だけではありません。行方不明者が出れば、山や川の中まで隈なく捜索します。台風の時には土嚢を作ったり、見回りもしています。火防巡回では、一人暮らし高齢者のお宅を回って声をかけることもあります。

活動後に、コンビニでコーヒーを買ってホッと一息つきたい時もあります。冷たい水を呑った後に、みんなで温かいラーメンを食べとなる時もあります。お酒の

席では、地域の危険箇所や災害時に助けが必要なお宅の話も出ます。取るに足らないような会話でもその積み重ねが地域防災につながっていると思います。私は地域防災の会議や、見守り支援ネットワークの会議などにも参加しますが、各地域における消防団の役割はかなり大きいと感じています。

室橋 正見

体験見学お気軽にどうぞ！

名胡桃の城(通所介護・通所型サービス)

〒379-1314 群馬県利根郡みなかみ町下津1962-3

TEL 0278-25-3722 FAX 0278-25-3881 事業所番号:1072700873

ホームページ yu-jin-sha.com インスタグラム毎週更新しています。 NAGURUMINOSHIRO



名胡桃の城
デイサービス